





り遠くに来ていた。これから引き返しても間に合わない。タクシーに乗れば間に合うかもしれないと思いい、運よく通りかかったタクシーに事情を話して、急いで連れて行ってもらう。何とかぎりぎり間に合った。

係の人の誘導で会場に向かう。集団面接は全員女性で、二十代二人、三十代一人、六十代の私の四人であった。面接官は三人で、私たちは年齢順と思われる席に案内される。初めに、若い人から順番に自己PRをするように言われた。私は驚いた。考えたことがなかったのである。この場で自己PRをしろということは、この仕事への自分の情熱を伝えようというのだらうと思う。すると、最初のリクルートスーツ姿の学生が、待っていています。父の転勤で……」

そんなことでいいのかと思いつながら、後の二人の話聞いていると、頭が真っ白になった

